

お知らせ

JBN全国大会 in 神奈川2014



衆議院議員 小泉 進次郎氏

●テーマ

「将来を見据え、いま、地域工務店がなすべきこと」

主催：(一社)JBN・JBN神奈川県

日時：2014年10月9日(木) 式典13:00～17:00 懇親会18:00～20:00

2014年10月10日(金) 分科会10:00～15:00 次世代の会・環境委員会・国産材委員会・既存改修委員会が分科会を担当

会場：横浜ロイヤルパークホテル 〒220-8173 横浜市西区みなとみらい2-2-1-3

●基調講演

「東日本大震災と日本の将来」

内閣府大臣政務官・復興大臣政務官 衆議院議員 小泉 進次郎氏

工務店の今を知る、伝える、支える情報誌

JBN REPORT

発行：一般社団法人 JBN

〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階 TEL: 03-5540-6678 FAX: 03-5540-6679 Mail: jbn@jbn-support.jp

HP: http://jbn-support.jp

© JBN 禁無断転載

ハウジングライフプランナー (HLP) 資格取得講習会開催

家を資産として活用する方法は売却だけではありません!! ~暮らしの変化に対応できる提案をすることが大切です~

大手ハウスメーカーでは、長期優良住宅+αの部分の付加価値として「移住・住みかえ支援適合住宅制度」を施主にご案内し、地域ビルダーや工務店との差別化をはかっております。

そこで JBN では、会員が大手ハウスメーカーと同じ立場でこの制度を利用できるよう「一般社団法人 移住・住みかえ支援機構 (JTI)」と協賛を致しました。JBN が推奨します「移住・住みかえ支援適合住宅」を取り扱うことにより、通常 50 歳以上の方を対象としている「マイホーム借上げ制度」の年齢制限をなくすることが可能になります。

大手ハウスメーカーだけではなく、現在「移住・住みかえ支援適合住宅」を取り扱っていない工務店等との差別化になり、さらに新築住宅だけではなく、既存住宅についても「JBN 既存適合住宅」として取り扱うことが可能です。ぜひこの機会に、「移住・住みかえ支援適合住宅制度」に取り組んで頂ければと思います。

「マイホーム借上げ制度」とは

シニア (50 歳以上) の施主のマイホームを最長で終身にわたって借上げ転貸し、安定した賃料収入を保障するものです。これにより自宅を売却することなく住みかえや老後の資金として活用することができます。また、家を借りたい方には、敷金・礼金がない等、優良な住宅をリーズナブルな家賃で提供します。

「移住・住みかえ支援適合住宅 (新築)」・「JBN 既存適合住宅」について

新築建設時に JTI から「移住・住みかえ支援適合住宅」の認定を受けた住宅なら、通常の「マイホーム借上げ制度」の利用条件である 50 歳を待たずに、簡単な手続きでいつでも「マイホーム借上げ制度」の利用を開始することができます。また、急な転勤や両親の介護、収入減などマイホームに住めなくなった場合にも手放すことなく賃貸料金でローン返済を継続することができます。

既存住宅では劣化診断・耐震診断を行い、必要な補修・補強等を行うことで「JBN 既存適合住宅」として認定を受ければ同じく、50 歳を待たずに制度を利用できます。

【開催日時】

1. 8月28日(木)

大阪会場：「TKP 大阪梅田駅前ビジネスセンター カンファレンスルーム 2A」

2. 8月29日(金)

東京会場：「TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター バンケットルーム 8E」

●講習時間：13:00～17:00 ●受付時間：12:45～ 定員：各 50 名

HLP 受験資格：JBN 会員であれば、誰でも受験できます (建築士でなくても可)

【費用関連】

●初年度

HLP 受講料：60,000 円 / 名 (テキスト代・移住住みかえ支援機構への登録料等) 利用参加費：20,000 円 / 社

●2年目以降

HLP 資格更新費用：7,500 円 / 名 利用参加費：20,000 円 / 社

問い合わせ先

一般社団法人 JBN 担当：坂口・山崎

TEL: 03-5540-6678 FAX: 03-5540-6679

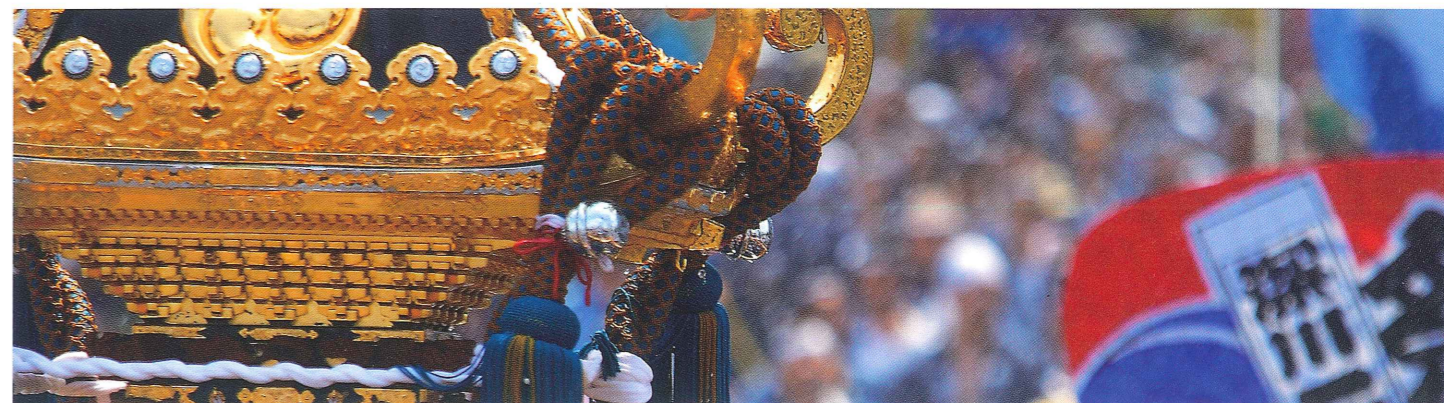


この冊子は環境にやさしい FSC® 森林認証紙を使用しています。

JBN REPORT

特集：JBN 第 7 期定時総会開催

2014 年 8 月号 -Vol. 1 創刊号



現状を認識し継続への方向性を再認識する



一般社団法人 JBN 会長 青木 宏之

6 年目を迎えた JBN は今回新理事が 5 名加わり、19 名の理事、3 名の監事と共に新体制で 2 年間 JBN を預かります。

日本の国は、人口減、産業成長力減、エネルギー問題、環境対策と右肩上がりの状態ではないと認識し、その中で古い自然発生の工務店がどう継続していくかを見つける 2 年にしたいと思います。

JBN の主なテーマは次の 5 つです。

- ①住生活基本法にうたわれている新築からストックマーケットに工務店はどうか対応するか。新築・リフォーム共に長期優良住宅にどう取り組むか。
②危機的状況にある技能者不足に対して JBN は人材育成に本格的に取り組む団体であることを宣言。JBN 型育成システムを作る。
③中古住宅流通マーケットとの関わりはさけては通れない。宅建業者との連携をはかる。
④住宅の JBN 型メンテナンスシステムを住宅履歴と共に作る。
⑤中大規模木造建築ビジネスに進出する工務店にハード・ソフトの支援を研究する。

これらを達成するには、機関決定の場として理事会の存在が大切で理事の皆様の協力がなければできません。又これらを実行するには事務局の充実が必須であり、協力会員、支援団体のお力を借りなければなりません。2 年後これらが一体となって JBN が名実共に日本の工務店組織として木造建築の中心になることを目標とします。

26年度役員



会長：青木 宏之 (株) 青木工務店 [神奈川県]

副会長：大野 年司 大野建設 (株) [埼玉県]

副会長：松井 進 (株) サン工房 [静岡県]

副会長：山田 一元 (株) 山田建設 [神奈川県]

副会長：鈴木 貴雄 (株) 鈴起建設 [愛知県]

副会長：山田 貴敏 笠原木材 (株) [岐阜県]

理事：池田 浩和 岡庭建設 (株) [東京都]

理事：加藤 信芝 (株) 加藤住建 [山形県]

理事：河井 英勝 橋本建設 (株) [広島県]

理事：小林 稔政 (株) 小林創建 [長野県]

理事：後関 和之 (株) 大和工務店 [東京都]

理事：坂下 託一 (株) 坂下工務店 [三重県]

理事：新町 吉男 (有) 新町工務店 [宮崎県]

理事：竹脇 拓也 (有) タケワキ住宅建設 [千葉県]

理事兼執行役員：玉置 敏子 (株) 環建築工房 [東京都]

理事：日置 尚文 日置建設 (株) [兵庫県]

理事：深澤裕一郎 (株) マルダイ [静岡県]

理事：矢野 久幸 (有) 矢野工務店 [高知県]

理事：和田 正光 (株) エコ・ビレッジ [福島県]

監事：池田 和好 (株) 池芳工務店 [広島県]

監事：中野 栄吉 (株) 中野工務店 [千葉県]

監事：橋本 昇 橋本会計事務所 [東京都]

(五十音順)

JBN 第7期 定時総会

平成 26 年 6 月 30 日 東京都江戸川区タワーホール船堀



平成 26 年 6 月 30 日 (月曜日) 13:30 より東京都江戸川区タワーホール船堀において第 7 期定時総会が役員、社員、連携団体代表による総議決権数 121 名のうち、本人出席 62 名、委任状出席 33 名、計 95 名の出席により開催されました。

定款にしたがい会長が議長となり、次の議案について審議され、原案通り承認され、15:00 に終了しました。

【審議事項】

- 第 1 号議案 第 6 期事業報告に関する件
 - 第 2 号議案 第 6 期収支決算に関する件
 - 第 3 号議案 定款の一部改定に関する件
 - 第 4 号議案 役員を選任に関する件
 - その他事項：第 7 期事業計画及び収支予算に関する報告
- 総会后、国に政策及び施策について、講演していただきました。

【基調講演】

- 内閣総理大臣補佐官 和泉 洋人氏
「健康長寿社会の実現と地域の活性化の推進について」
- 国土交通省住宅局住宅生産課木造住宅振興室 室長 林田 康孝氏 (現 住宅生産課長)
「平成 26 年度国土交通省住宅施策について」

会員支援(サポート)事業

○ 長期優良住宅普及事業(講習会)

長期優良住宅活用セミナー	17回	527名
長期優良住宅壁量計算の実務研修会	15回	357名

○ リフォーム支援事業(講習会)

性能向上リフォームの考え方と取組み講習会	6回	262名
耐震診断改修施工指導者研修会	5回	155名

○ JBN 認定品質住宅(瑕疵担保責任保険法人適用)事業

JBN 認定品質住宅団体検査員講習会	35回	630名
--------------------	-----	------

○ 保険事業

(地盤調査)

- 報国エンジニアリング—330件
- ジャパンホームシールド—995件

(瑕疵担保責任保険)

- 住宅あんしん保証—319件/●JIO—5,090件/●住宅保証機構—1,321件/●ハウスプラス住宅保証—56件

○ インスペクター事業

- JBNインスペクター(検査員資格)—1,451名

○ 住宅履歴管理サービス(いえもり・かるて)事業

登録数	平成 25 年 8月1日	平成 26 年 3月31日	増減
いえもり・かるて	4,637	5,991	1,354

○ 事業成果物などの刊行事業

No	タイトル	発行年月	版	頁
1	家を受そう。長期優良住宅	2013年9月	A4	14
2	やればできる! 中大規模木造	2013年9月	A4	6
3	長期優良住宅壁量計算の実務	2013年10月	A4	77
4	長期優良住宅の入門編	2013年10月	A4	51
5	いえもり・かるて 住宅履歴情報登録マニュアル	2013年10月	A4	24
6	地域工務店の省エネ住宅仕様事例集	2013年11月	A4	66
7	JBN 全国大会 in 広島 設立 5 周年記念誌	2014年1月	A4	72
8	地域工務店による長期優良住宅取組事例	2014年2月	A4	18
9	性能向上リフォームのすすめ	2014年2月	A4	33
10	リフォームガイド	2014年2月	A4	46
11	聞き取り・現地調査と維持管理のためのガイドライン	2014年2月	A4	42
12	既存住宅長期維持保全計画書作成の手引き	2014年2月	A4	34

貸借対照表

平成 26 年 3 月 31 日現在

科目	金額 (円)
現金預金	60,307,124
未収金	124,425,711
その他の流動資産	1,136,267
流動資産合計	185,869,102
建物	1,061,474
その他固定資産合計	7,869,482
固定資産合計	8,930,956
資産 合計	194,800,058
未払金	93,285,339
預り金	31,297,466
未払法人税等	1,559,700
その他流動負債	126,142,505
流動負債合計	129,759,105
固定負債計	36,000
負債 合計	129,795,105
正味財産 合計	65,004,953
負債及び正味財産 合計	194,800,058

正味財産増減計算書

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

科目	金額 (円)
(1) 経常収益	
受取入会金	50,000
受取会費	73,808,500
事業収益	103,540,828
受取補助金等	112,644,245
雑収益	2,519,401
経常収益計	292,562,974
(2) 経常費用	
事業費	213,577,169
管理費	49,888,119
経常費用計	263,465,288
(3) 当期経常増減額	29,097,686
(4) 税引前当期一般正味財産増減額	29,097,686
法人税、住民税及び事業税	1,559,700
(5) 当期一般正味財産増減額	27,537,986
一般正味財産期首残高	37,466,967
(6) 一般正味財産期末残高	65,004,953

京都木の家ネットワーク設立総会開催

平成 26 年 7 月 3 日 ホテルグランヴィア京都



JBN 連携団体「京都木の家ネットワーク」の設立総会が、7月3日(木) ホテルグランヴィア京都にて開催されました。

会長には、株式会社岸田工務店の代表取締役 岸田 誠氏が就任しました。

京都木の家ネットワークは、国土交通省の「平成 26 年度地域型住宅ブランド化事業」に採択されており、今後の団体活動も活発に展開する予定です。

地域型住宅の名称は、「京都住まい・木の家」で、事務局は(株)八興が担当となります。

福島県復興公営住宅事業の選定事業者に決定



JBNと全建総連で構成する(一社)全国木造建設事業協会【全木協】の福島県協会が応急仮設木造住宅に引き続き『福島県買取型復興公営住宅整備事業(大玉村横堀平地区)』の選定事業者に決定しました。平成26年10月頃に着工し、平成 27 年 3 月に住宅等引渡の予定です。

7月16日の基本協定書調印式(右から3番目:全木協福島県協会 和田会長)

連携団体紹介 一般社団法人 信州木造住宅協会

工務店による工務店のための活動をめざして



取り組みたいことと相談したいこと等、日頃の仕事の中で必要なことを中心に、勉強会・講習会・研修会を行ってきました。

26 年度からは、事業者個々の考え方ではなく、「地域の地域工務店として…」を皆で考え、「新築とストック」を専門的に取

一般社団法人信州木造住宅協会は、平成 21 年に任意団体として設立し、平成 24 年に法人化、現在は正会員 122 社・推進会員 4 社・賛助会員 24 社・準会員 2 社を擁し、6 年目の事業活動に入っております。工務店による工務店のための活動をめざし、法人化と同時に「事業委員会」を設け、各工務店の若手経営者やリーダーを集めて、自社での問題点や

り組み・考えていく二つの研究会を立ち上げ、会員相互のビジネスモデルとなるように活動を開始したところです。目的・目標を持った優良工務店様の見学や、ストック循環型の基本である顧客管理と維持管理メンテナンス体制の整備を中心に、面白い活動になると思います。